

130 エゾセンニュウ

(スズメ目)

Locustella amnicola

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

千島列島南部、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道で繁殖する。春秋の渡りの時期に本州、四国、九州、沖縄に渡来する。個体数は少なく、本州における記録は各地ともに少ない。低木や草の茂みの中を潜行し、姿を見せる機会は少ない。主に昆虫類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、草垣群島、屋久島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

※第一回冬羽

※鳥類標識調査時に撮影

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、西宮市、★豊岡市、宝塚市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-6月に生息するが、茂みを潜行するため観察が難しく記録は極めて少ない。2000年以降の記録は極めて限られている。標識調査で確認されることがあるが、最近の生息状況は不明。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、山地から山麓、丘陵地における自然環境の残る灌木林や草原の保全と再生が重要。